

ブロードバンドの整備の進捗状況は 答弁Ⅱ平成32年度から整備を開始する



筒井 こうじ 議員

総務省への要望は、誰と行ったか。対応いただいた方は誰だったのか。
また、町長の行政報告からは民設民営で、平成32年度から整備を開始すると受け止めたが、よろしいか。

池田町長

平成30年11月の総務省への要望活動は、町長、総合政策課課長補佐、高知県東京事務所職員の3人で赴き、総務省ブロードバンド対策室長他2人の方に対応いただいた。

整備については、民設民営方式を中心に検討しており、補助事業の内容などを

踏まえて、他の事業と調整のうえ、平成32年度から整備を開始する計画である。

筒井議員

町内全域での、携帯電波不感帯ゼロを目指せ。

池田町長

インターネット通信を活用したサービスは進化し続けており、日常生活のみならず農業をはじめとする様々な分野で、IoT技術を活用する取り組みが始まっている。

町においても超高速ブロードバンド整備エリア外の地域に、携帯電波のルーターを補助するなどの取り組みを検討している。
いまだに電波状況が悪い地域もあるので、電波状況の改善を各携帯会社に要望していく。

免許取得時の補助制度は 答弁Ⅱ新設を検討する

筒井議員

銃猟・わな猟の狩猟免許を取得しようとする人に対し、費用の一部を補助しているが、これまでに何人が取得したか。また、捕獲実績はどうなっているか。

久松副町長

町では、捕獲従事者を確保するために、わな猟取得試験、初心者講習会及び射撃講習に係る経費の一部に対し補助を行っている。

これまでに補助を活用し狩猟免許を取得した人数は、平成25年度から平成29年度までで、銃猟6人、わな猟39人、銃猟及びわな猟2人の計47人だ。そのうち20人に捕獲実績がある。

平成26年度から平成30年11月末までに捕獲された個体は、イノシシ224頭、シカ57頭、サル146頭、カラス163羽、ハクビシン12頭、アナグマ13頭である。

筒井議員

「準中型自動車第一種運転免許」が新設され、消防自動車の中には、普通免許で運転できない車両がある。

新規団員が運転免許を取得するときには、取得費用を補助することにより、団員の確保を図ってはどうか。

久松副町長

平成29年3月12日に準中型免許が新設されたことにより、運転できる自動車の車両総重量は3.5トン未満となった。

現在、ポンプ車やタンク車など車両総重量3.5トン以上の車両を配備している分団には、車両を運転できる団員の確保が課題となることが予想される。新たに準中型免許を取得する際の費用の一部を負担することは、消防力の維持や団員確保の点から必要なので、他市町村の状況などを参考に検討していく。

作業道の修繕を早急に 答弁Ⅱ県と協議する

筒井議員

大規模な崩壊や土砂崩れなどの復旧対応は、行政が行うべきではないか。

野村森林政策課長

森林作業道の維持管理については、その開設主体が行うこととなっており、町として開設主体に対して、路面整備・路面改良・除草及び災害復旧などの様々な支援を実施している。

災害復旧の補助内容は、災害1か所当たりの補助率が90%で上限補助金が50万円となっている。町としては、林業経営体や事業実施者に、これらの補助金を森林作業道の維持管理に上手に活用していただきたい。

大規模な崩壊や土砂崩れなどへの対応は、高知県山地災害防止事業や治山事業による行政での対応となるので、事業採択の可否を県と協議していく。